

(財) 全日本交通安全協会推薦

◆ 初心者・免許更新講習に最適です

検証!!

若者の交通事故

スピード!

不注意!

携帯電話!



● 18分

検証！！若者の交通事故

— スピード！不注意！携帯電話！ —

制作意図

国内で運転免許証を持つ人は、およそ7千8百万人です。免許取得後は、慣れないせいもあって、運転は慎重です。

しかし、一年が過ぎ初心者マークも外れ、一般ドライバーの仲間入りをする頃は運転にも慣れ余裕が出てきます。あなたの運転のちょっとした油断と過信が、取り返しのつかない事故を起こすかもしれません。事実この頃に、交通事故を起こしている確率が高いのです。

この作品では、スピードの出し過ぎ・不注意・よそ見運転の危険性を検証し、全ての運転者がハンドルを握る時に、初心者の頃の慎重な運転を心がけるように訴えます。

初心者講習、免許更新講習にご活用下さい。

◆事故例 1・スピードの出し過ぎによる事故

免許を取って2年目、大学生の松本君は念願の車を手に入れました。友だちを誘ってドライブに出かけますが、「運転がのろいから、海に着いた頃には日が暮れてしまうよ。」「仕方ないよ、松本は若葉マークなんだから。」という友達の言葉に熱くなり、思わずアクセルを踏み込みます。

見通しの悪い左カーブに差し掛かった時、松本君の車はスピードの出し過ぎで、大きくセンターラインを越え、右車線にはみ出しました。その時、カーブの向こうから対向車が来ました。急ハンドルを切った松本君の車は、左に大きく旋回し対向車線を越えて、崖へ激突してしまいました。



◆事故例 2・不注意による左折巻き込み事故

道路が交わる交差点。交差点はもっとも事故が多発する場所です。加藤さんは交差点で左折をしようとしてウインカーを出して止まっていた。信号は赤、横断歩道の向こうには歩行者が信号待ちをしていました。

「歩行者よりも先に横断歩道を曲がれるな」そう思った加藤さん。信号が青に変わるまで、加藤さんの視線は歩行者に集中していました。

信号が青になり、加藤さんが急いで通過しようとハンドルを左に切ったその時です。加藤さんの車に左から走って来た自転車と衝突、自転車に乗っていた男性は重傷を負ってしまいました。



◆事故例 3 携帯電話使用による前方不注意

吉田さんは運転歴3年の新人営業マンです。運転中、助手席に置いた携帯電話が鳴ります。運転中の携帯電話の使用は禁止されていますが、吉田さんはおかまいなしです。「はい、吉田です。いつもお世話になっております…」前方の車を気にしつつ、話しながら運転しています。その先には横断歩道があります。そして、乳母車を押しながら女性が横断を始めています。

前方の車は減速し、ブレーキランプが点灯します。しかし、会話に夢中の吉田さんは前の車が減速したのに気付きません。そして、停車した前の車に急接近、慌てて急ブレーキを踏みますが、間に合わず、追突してしまいました。



お問い合わせ、お申し込みは…

(映) 有限会社 博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp